

月刊 アカサス ニュース

第25号 1998(平成10年).6

「アカサス」とは、古代ギリシャ・ローマに由来し、金沢大学の校章にも使われている植物の名称(和名「ハアザミ」)です。

本学などでSCS利用の7大学連合遠隔共同講義

トップニュース Top News

「コーヒー学入門」を多くの市民が受講



開講に当たってあいさつする畔柳潤くろやなぎしゅん・日本コーヒー文化学会副会長(右)
=5月16日、総合教育棟SCS室で

大学教育開放センターは、このたび、SCS(スペース・コラボレーション・システム)を活用して、7大学で同時に受講できる公開講座「コーヒー学入門 おいしく飲むための基礎知識」を開講した。参加大学は、本学のほか、北海道・茨城・横浜国立・神戸・九州・鹿児島各大学で、人気のある講座は受講者総数が400人を超えるほどの勢いである。

講座では、全日本コーヒー協会のインストラクターがおいしいコーヒーの入れ方を紹介するほか、工学・歴史・経済学・農学などの各専門家がそれぞれの立場で「コーヒー」について語ることとなっている。



たくさんの受講者が集まった初回の講義の様子
=同上





巻頭言

深緑に寄せる思い



事務局長
中村 厚生

いまキャンパスは緑ますます濃く、中でも角間キャンパスは最高で、何より自然環境に恵まれている。進入路の^{けやき}榲が美しい。数年もしたらもっと見事な^{けやき}榲並木になることだろう。

自然環境が良いのは、広い土地を求めて移転してきたのだから当たり前といえどもそれまでだが、実は城内もなかなか緑豊かであった。本丸跡にあった植物園などは、めずらしい植物や年代を経た樹木が密集して、それは鬱蒼^{うっそう}としていた。近ごろその面影が少しずつなくなっているようで、残念でならない。

総合移転に当たっては、山を切り開いて多くの樹木や植物を倒した。と思ったら、今度は出来上がった建物の周辺や空き地に一生懸命樹木を植え直している。人間のやることは矛盾しているが、期移転でも同じことが繰り返されるのだろうか。できるだけ現状の自然の緑を生かす手立てを考えたいものだ。

4月29日の「みどりの日」に角間キャンパス

において、市と本学による新婚記念植樹があった。新婚さん100組が、本学附属図書館わきの斜面に「コブシ」の木を植えた。もうお腹の大きいカップルもいてほほえましく、生まれてくる我が子とコブシの成長を、これから見守っていくことだろうと思うと、こちらまでうれしくなってくる。キャンパスが広大で自然環境が良いのは結構だが、そのぶん緑化、清掃など学内環境の整備には、多額の経費がかかる。だから、このような学内外からの協力は、誠にありがたい。

角間キャンパスへの移転がすべて完了し、まわりの樹木が生長してしっとりと落ち着いた学園が形成されるまでには、まだまだ日時を要することだろう。そして、そこに新たな歴史と伝統を築き上げるには、そうした長い年月と教職員のたゆみない努力が必要であり、並大抵のことではないと思う。

医学部保健学科

3号館新営工事の安全祈願祭を行う

医学部では、保健学科3号館新営工事の本格着工を前に、5月21日、関係者を集めて安全祈願祭が行われた。この日は晴天となり、まぶしいくらいの会場テント内で、中西功夫医学部長、松井道太郎施設部長らが鎌入れなどを行った。

保健学科は、平成7年10月に医療技術短期大学部を改組して設置されたもので、平成8年4月から学生を受け入れている。同学科が4年制となったことに伴い、従来の1、2号館では収容が困難となったことから、3号館を新築整備するものである。



鎌入れを行う中西医学部長
= 5月21日、医学部保健学科敷地内で

“工事”関係の写真は裏表紙にも紹介



立花 隆 氏に決定(創立50周年記念
特別講演講師)

国際シンポジウムの招待講演者なども決まる

来年の創立50周年記念式典まで、残すところあと1年となり、創立50周年記念事業委員会では、記念式典・祝賀会、50周年記念展示、国際シンポジウム、特別講演及び若手研究者シンポジウムの日程、会場等を決定した。(下表のとおり。)この中で、特別講演の講師には、中身の濃い評論に定評があり、このたび第1回司馬遼太郎賞を受賞した評論家の立花隆氏を迎えることとなった。

特別講演の講師に決定した立花隆氏
(評論家)

記念事業を紹介するリーフレット

平成11年 記念行事	5月28日 (金)	5月29日 (土)	5月30日 (日)	5月31日 (月)	6月1日 (火)
記念式典・祝賀会		午前～午後 (金沢全日空ホテル)			
50周年記念展示		5月29日から6月11日まで(資料館及び総合教育棟)			
国際シンポジウム (下記 参照)			午前 市民シンポジウム (金沢市文化ホール)	31日午前から1日午前 学術シンポジウム (金沢市文化ホール)	
特別講演			午後 (金沢市文化ホール)予定 [立花 隆]		
若手研究者シンポジウム	午後(予定) (大学会館)				

[国際シンポジウム]

外国人招へい講演者

W . S . F y f e (ウエスタン・オンタリオ大学教授) カナダ

金 周 栄 (中国社会科学院数量経済研究所研究員) 中国

J.N.Abramovitz (ワールドウオッチ・インスティテュート主任研究員) アメリカ

G.Y.Domitrlova (ウラジオストック極東総合大学助教授) ロシア

国内招へい講演者(あと3名追加予定)

徳 岡 隆 夫 (島根大学総合理工学部教授)

千 葉 仁 (岡山大学固体地球研究センター教授)

沢 野 伸 浩 (星稜女子短期大学講師)

なお、3月下旬には、教職員等、同窓会会員、企業等への募金依頼も開始された。募金目標額(3億円)達成のため、創立50周年記念事業後援会では、特にボーナス月でもある6月に、教職員に対して積極的な募金への協力を呼び掛けている。



医学部附属病院 「ふれあい看護体験'98」を開催

5月9日・12日の両日、医学部附属病院で「ふれあい看護体験'98」が行われた。

当日は、親子2組を含む9名が参加して、病院内の施設や医療機器の見学、患者さんの入浴介助、ベッドメイキングなどが行われた。参加者からは、「看護婦の仕事の多様さに驚いた。」「看護婦になりたい気持ちがより強くなった。」などの感想が寄せられた。



一日看護婦に任命される高校生
= 5月12日、医学部附属病院院長室で



患者さんの足を丁寧に洗ってあげる一日看護婦さん
= 5月9日、医学部附属病院病室で

附属小 で

「ふじだなおとぎ会」

教育学部附属小学校は、5月13日、恒例の「ふじだなおとぎ会」を開いた。これは、校内にある立派な藤棚の下で日頃練習した出し物を披露する会であるが、この日は、あいにくの雨模様となり、会場をランチルームに移して行われた。元気いっぱいの演技やときどきのハプニングに友達や保護者は歓声をあげて楽しんだ。



「ことばあそび」をする1年3組の児童たち
= 5月13日、附属小学校ランチルームで

附属養護 で

第35回創立記念式を挙行

5月11日、教育学部附属養護学校で、第35回創立記念式が行われた。記念式には、児童・生徒や教職員、多数の保護者が参加し、宮口尚義校長のあいさつに引き続いて全員で校歌を斉唱した。式の後には、金沢大学民族舞踊部による踊りが披露され、生徒らはハンガリーやブルガリアなどの踊りに夢中で見入っていた。



軽快なリズムに合わせて踊る民族舞踊部の皆さん
= 5月11日、附属養護学校体育館で





見よう見まねでお茶をたてる様子
= 5月16日, 越田師範宅(小松市)で

外国人留学生 「ホームビジット事業」を開催

日本の生活習慣・伝統文化に触れ、日本語の理解を深めることを目的に、日本人家庭に1日体験宿泊をする「ホームビジット事業」が5月16・17日に実施され、20名の外国人留学生が参加した。留学生は、まず、日本の伝統芸能である太鼓の実演や茶道の裏千家師範・越田宗智社中のお茶のお手前を楽しみ、重要文化財である那谷寺を散策するなど日本文化を満喫した。参加した留学生らは興味津々で太鼓や茶道に挑戦。太鼓に挑戦した留学生の中には、力が入り過ぎて、ばちを折る者もいた。

また、夜には小松市、辰口町、山中町の3地域18世帯の日本人家庭に赴き、日本の生活習慣を体験した。

5月の研修スナップ

英会話研修

期 日：5月7日～12月24日(「中級コース」)
受講者：簡単な英会話や英語での意見表明ができる者など 4名
場 所：イーオン金沢校(金沢市片町)



「中級コース」のリラックスした研修風景
= 5月26日, イーオン金沢校(金沢市片町)で



楽しげに太鼓を打ち鳴らす外国人留学生
= 5月16日, 浅野太鼓店(松任市)で

北陸地区国立学校等初任者研修

期 日：5月19日～22日
受講者：平成10年5月1日までに採用された事務・技術系新規採用者 29名
場 所：事務局大会議室及び辰口共同研修センター



山崎千春庶務課長を講師に迎えての講義の様相
= 5月19日, 事務局大会議室で

本学へのお客さま(5月)



蘇州大学(中国)白倫副学長(右)
= 5月12日, 学長室で

西澤謙二君（自然研博士前期課程） 環境基盤工学専攻1年） 土木学会 中部支部 優秀研究発表賞を受賞

本学自然科学研究科1年の西澤謙二君は、このたび、(社)土木学会中部支部の“優秀研究発表賞”受賞の栄誉に輝いた。研究題目は「植生周辺の飛砂と風特性」。今回の受賞は、研究の内容だけでなく発表そのものも優れていたことが評価されたものである。



賞状を手にする西澤君
= 5月6日、工学部土木建設工学科B棟前で

フルブライト長期研修に2名 同時派遣

日米教育委員会が日本人を対象としているフルブライト奨学金計画の二つのプログラムに、このほど、庶務部企画室から2名が同時に派遣されることとなった。一人は白木一成さんでモンタナ大学などに、もう一人は山根亜紀さんでコロンビア大学などに派遣される。期間はともに6月5日からの1年間である。



大勢の有志に激励される白木さん(左)と山根さん(中央)
= 5月25日、角間ゲストハウスレセプションルームで

国際交流協定締結大学（その11）

華西医科大学（中華人民共和国）

〔1998.4.2協定締結〕

華西医科大学は、中国四川省成都市に位置し、同国の重点5医科大学の一つに数えられている。6学院、5学部、13附属病院、12研究所、8研修センターのほか、衛生学校、製薬工場などから成り、敷地面積70ヘクタールのキャンパスには、学部学生約4,500名、大学院生(修士・博士課程)約800名が在学する。

同大学は、現在9か国約40大学と大学間交流協定を締結するなど国際交流にも積極的であり、本学にとっても、本協定を介した交流の一層の発展が望まれる。



華西医科大学第四教学楼(同大学パンフレットから)



健寿会が創立30周年を迎える

本学の事務系退職者で組織する「健寿会」は、このほど創立30周年を迎え、5月28日、市内のホテルで記念祝賀会を開催した。祝賀会では、会長でもある岡田晃学長から「会員は今後も末長く健康で明るく会の催しを楽しんでください。」とのあいさつがあり、金子曾政元学長からは、昔を振り返りながらお祝いの言葉が述べられた。

また、「金沢大学健寿会三十周年記念誌」も刊行され、この日会員に配られた。



会のお世話を続けている功労に対して感謝状が贈られた川崎五郎氏(右)
= 5月28日、金沢都ホテル(金沢市此花町)で

「附属学校園だより」が発行される

教育学部附属学校は、広報紙「附属学校園だより」を創刊するための準備を着々と進めている。これは、附属学校園内のコミュニケーションを図り、学内外に各種行事や教官の研究成果などを発信しようとするもので、6月初旬に創刊し、以後毎月(ただし8月を除く)発行される予定である。



岡田晃学長にインタビューする附属学校事務部の平田志保子さん(中央)と作田真由美さん(左)
= 5月8日、学長室で

本学職員の著書紹介コーナー

あいの風ひとりごと
タコツボのかたち

寺井嘉治
(教育学部附属学校事務長) 著

発行所：能登印刷出版部
(1,200円 税込)



ツボの中にいるタコは広い海にいらながらも、ツボの中からでは、ごく狭い範囲でしか物を見ることができない。本書は、そんなタコ的な(?)視点で広い社会を覗き見て、思いつくままユーモラスに書き綴ったエッセイ集。「なるほど...」、「そうそう! あるある!」というように、誰にでも思い当たる節があったりして、著者の日常風景が思い浮かぶ。

本コーナーに著書の掲載を御希望の方は、庶務課研究協力・広報係 電話264-5019 まで御連絡ください。

編集後記

「大学は今、何を行っているのか」という社会からの要求に応えることは、大切なことであると思う。そのために大学人一人一人が広報マインドを持つことが重要なのは言うまでもない。

通信衛星を使用した7大学遠隔共同講義「コーヒー学入門」は大きな反響ですばらしいスタートとなり、今号のトップニュースに取り上げた。また、本学創立50周年記念のイベントが固まった。平成11年5月28日から開催されるものだが、学内外からの参加・協力のもと、是非盛況に終了させたいと念じている。関係者の皆様の一層の御尽力に期待するところで

ある。特に、基金への積極的な協力もお願いしたい。

時、あたかも6月初旬、緑一杯の角間キャンパスには初夏の陽光がまぶしい。しかし、梅雨入りも発表された。晴れ間を見つけて、キャンパス内の草刈り清掃にも取り組みたい。

スポーツファンでなくとも気になるところだろうが、日本が初めて参加するサッカーの世界カップ・フランス大会が始まる。テレビで応援することとなるが、寝不足になるのは否めないだろう。我が国の代表選手の奮闘に期待したい。

(吉田)



教員を目指す学生が ガイダンスを受ける

厚生課と教育学部は、5月28日に教員志願者のためのガイダンスを開いた。講師に石川県教育委員会のOBを迎えて集団と個別による模擬面接を行ったものであるが、就職戦線たけなわの中、多くの学生が真剣に受講した。



個別の模擬面接を前にしてのオリエンテーション
= 5月28日、教育学部401講義室で

総合移転(期), 附属病院病棟工事, 医学部保健学科3号館工事

三つの事業(工事)について現状を写真でお伝えします。(いずれも6月12日撮影)



総合移転 = 角間川を改修中



附属病院 = 埋蔵文化財を調査中



医学部保健学科 = 埋蔵文化財を調査中

THE DORAKU 写真 7

このコーナーは、皆さんの趣味や熱中していることなどを紹介する新コーナーです。写真や絵画に限らず、いろいろな作品や季節感あふれる話題などをお寄せください。いつでも撮影に出向きます。



「ポスターなどで目にする花の写真は、花のイメージが固定されているように感じます。コスモスは寂しげに風に揺れ、バラは華やかなものとか。しかしそれぞれの花にはもっと別の魅力があると思います。その誰も気づかない美しさを見出し写真にすることが大きな楽しみです。」と著名な写真家甘楽美登利さんは云う。

ショウブやカキツバタは、うっとりしい梅雨を思わせる花。けれども花たちは小雨の煙の中で華麗なまでに花を咲かせている。その素晴らしさは言葉で云い尽くせない。

酒井誠一 (50年史編纂室)

平成10年6月19日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙の内容、その他本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ 愛称 “ KUPIS ” (キューピース) 」

(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。

本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール (E-mail) = general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。

